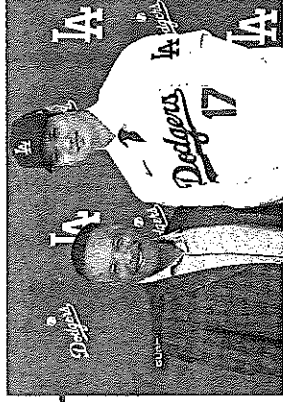


- 小池龍之島民 八重山を戦場にさせぬ 3
- 京都市長選 福山えと市民語る 4
- 労組結成妨害に米議員懸念 5
- 税制改正 特定産業に大減税 6



- シリーズ 北富士 11
- 人びとを結ぶシェアハウス 12
- シリアス大谷翔平 新たな飛躍 8
- テレビ・ラジオ番組表 7
- 小説 5
- 囲碁・将棋 8
- 読者の広場 12

# いん 赤旗

中央委員会フアング

## 能登地震 死者94人に

### 安否不明222人 続く断水 孤立地区も

最大震度7を観測した能登半島地震で、石川県は5日、県内で94人の死亡が確認されたと発表しました。同日午後2時時点で連絡が取れない安否不明者は222人。家屋倒壊による生き埋めになった住民も多数いるとみられ、消防などが捜索を急いでいます。

↓関連⑩面

県によると、死亡が確認されたのは、輪島市で55人、珠洲市で23人、穴水町

で6人、七尾市で5人、能登町と志賀町で各2人、羽咋市で1人。新たに穴水町と志賀町で1ずつ増えました。

安否が分からないのは、輪島市121人、珠洲市82人など。一部重複して計上している可能性もあるといわれています。輪島市では、発生直後に生き埋めになったとの情報が寄せられました。72時間以内に捜索できなかったところもあり、関係機関が協力して救助活動

が続いています。県内に開設された避難所には5日も3万2000人以上が身を寄せています。ライフラインの復旧が課題ですが、珠洲市、穴水町、能登町で計150人以上が依然 孤立状態にあり、輪島市にも孤立した地区があります。県内約6万6000戸で断水が続く、停電している施設も多い。滑走路に多数のひび割れ

が見つかった能登空港では、仮復旧工事が始まりました。自衛隊機は数日後に発着できるようになる可能性があります。民間機の運航が可能になるのは、早くとも20日以降になる見込みです。

県は、能登方面へ向かう道路で深刻な被害が発生しているとし、3連休中、個人での能登方面への移動を控えるよう呼び掛けています。

## 被災者の苦しみに寄り



与野党首会談に出席する志位和夫委員長（左から2人目）＝5日、国会内

の確保に全力を尽くすよう要請。インフルエンザが広がるが、健康と衛生の対応に万全を期すとともに、障害者に対するきめ細かな対応、シニアに配慮した対応を行い、それを進めるための人的体制を至急確保するよう求めました。

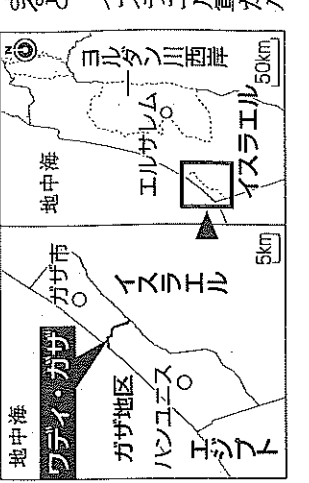
3点目は、安心して休める住まいの確保です。仮設住宅の建設を急ぐとともに、近隣自治体を含めた公営住宅の活用、ホテルや民間住宅の借り上げなど緊急の住まいの確保を要請しました。

3点目は、孤立地区の一刻も早い解消とともに、空からの輸送など緊急手段を使って物資を届けることで

4点目は、医療機関を介護施設に対する水・燃料をはじめとする緊急支援です。医療費の自己負担の免

です。「わが党は廃炉を求めるが、地震が続いていることで重大事故を絶対に起こさないこと、トウラルに関する詳細な情報を公開することを求める」としました。

各党発言からもそれぞれ要請があり、岸田首相は「真摯なご意見をいただいた。受け止めて生かしてい



## 津波被害の 朝食菓子パン1個

1日に起きた能登半島地震で津波も多数の家屋が倒壊した石川県能登町。発災から4日たち、住民たちはどんな生活をしているのか。

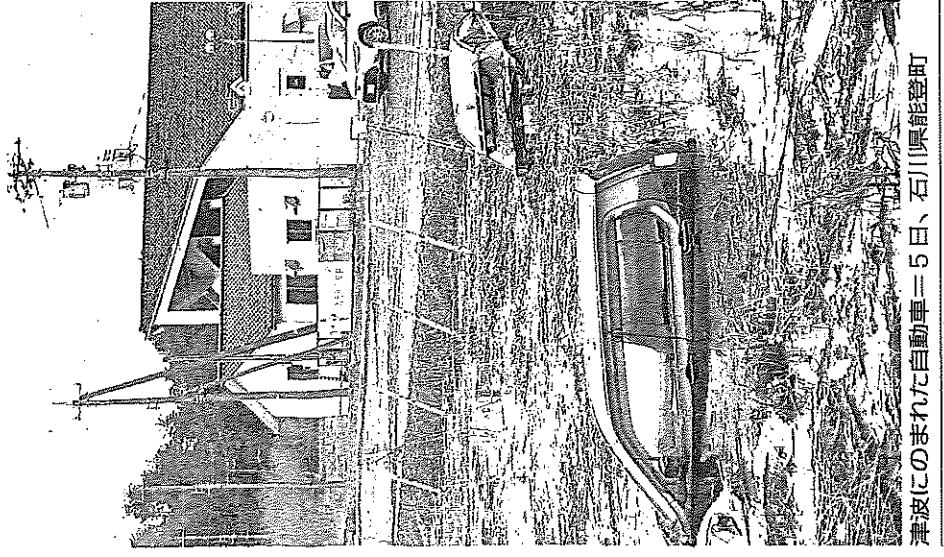
(細野晴規、矢野昌弘)

町の観光スポットである恋路海岸を望む同町松波地区には、高さ1.5メートルの津波が押し寄せました。同地区の近くにある丸里川尻川その建物の壁には、くつきりと津波の痕跡が残っています。池のよう

になった場所には、津波で流された車が沈んでいました。避難所の町立松波中学校には、校舎や体育館に多数の段差やひび割れができています。同町職員によると、避難所に登録した住民は700〜1000人。体育館では、厚手の段ボールを間仕切りにしたり、床に敷いたりしていました。職員は「今日の朝食はパン1個とお菓子。飲み物は、一番ひどい時は500

のペットボトル1本で」と、食糧確保の悩みを語ります。自宅が津波の被害を受け、避難している男子高校生(17)は「今朝は菓子パン1個。昨日の夕方からサツマイモのおかゆ、昼はパン1つが『カン三つ』のどちらかを選んでくださいというメニューだ。ずっと似たような食卓なので、もちろん食べたい」と話します。4日の夕方には歯ブラシと液体のマジックウォッシュが配られました。それまで歯ブラシが無かった避難者もいたといいます。

(13面につづく)



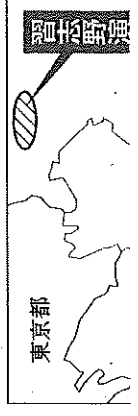
津波にのまれた自動車＝5日、石川県能登町

## 災害時に自衛隊へり動員

### 習野で住民「物資輸送すべきだ」

最大震度7の地震が起きた石川県の能登半島を救助活動が続く中、陸上自衛隊の第1航空団は、7日に予定されている「降下訓練」の規模を縮小せずに習志野演習場(千葉県船橋市)などで実施することが分かりました。同訓練には、自衛隊機が参加。能登半島では道路が寸断され、救援物資が届かない地域もあり、住民から「訓練ではなく物資輸送をすべきだ」と疑問の声が上がっています。

防衛省資料によると、訓練は島しょ防衛を想定し、空挺団員によるパラシュート降下や、陸自へりによる部隊展開などを展示。訓練には陸自第1へりコマンド、航空自衛隊のC-2、C-



130日輸送します。米空軍のインドネシア隊も参加。船橋市に5時時点で、機を委更すたといまむ男性は「被災地へ輸送できない必要な時は違和感が、コマンドを第1へり属する主な、H47へりが可能です。30分、C-120を積載機です。

オンライ「Chan.」では5日、中止し、救先にするよ、立ち上がり、NHK出

◇あす 志位 巨隣 10時10分

